



久遠寺のしだれ桜

春

子どもの夢を叶えるプロジェクト

第1弾
平成28年～

日本一のしだれ桜の里事業

- 平成27年 身延高校の生徒から、町全体にしだれ桜を植栽し、しだれ桜の里にしたらどうかと町長へ提案
- 平成28年度 山梨県富士川クラフトパークへ植樹をスタート（財源確保としてクラウドファンディング活用）
- 平成28年度から植栽をはじめ、令和元年度末までに5,200本以上を植栽し、併せてヒラドツツジも遊歩道沿いに植栽。
- 平成29年度～ 山梨県富士川クラフトパークのほか、町内の各施設や自治会等にも声掛けをし、植栽。

身延高校の生徒の提案から町、町民、町内の各施設などを巻き込み、夢をかなえるべく今も植栽を進めています。



西嶋イルミネーション



本栖湖

子どもの夢を叶えるプロジェクト

町の宝である子どもの発想をまちづくりに活かすことを目的に、平成28(2016)年より実施しているプロジェクト

- 子どもたちへの愛情 『子どもたちのたくさんのひらめきやアイデアを大切に育てる』
- 子どもたちの健やかな成長 『子どもたちの発想力を認めることで、子どもたちの人格形成に資する』
- 郷土愛の醸成 『「ふるさと身延」とのつながりを実感してもらう』



1年を通して身延町は

魅力がいっぱい!

子どもの夢を叶えるプロジェクト

第2弾
令和元年

町の歌制作事業

平成29年8月21日、町長と小中学生の集い「町長を囲んで語り合おう2017」において「みんなで歌える町の歌をつくってほしい」という「夢(発想、思い)」があり、取り組みました。



一色のホタル

夏



本栖湖アウトドアスポーツ



特産品「あけぼの大豆」の6次産業化

町の活性化事業の1つとして、粒が大きく甘み強い特性を持つ「あけぼの大豆」に着目し、『身延町産「あけぼの大豆」で町おこし事業』に取り組み始めました。「あけぼの大豆」は良質な大豆でありながら、生産・流通量が少なく「幻の大豆」といわれていました。

町内小学校での食農教育



あけぼの大豆の学習～栽培～収穫(枝豆・大豆)～調理実習

現在では、「あけぼの大豆」の知名度も上がってきており、中には、あけぼの大豆の栽培を目的とした移住者も増え始めています。「あけぼの大豆」を通したまちおこしはいい結果を生んでいます。

※地理的表示保護制度(通称GI)とは、地域で育まれた伝統と品質等の特性が産地と結びついている商品の名称を知的財産として保護する制度です。



甲州いろは坂